



## 2020・令和2年 新しいことにチャレンジ

校長 小林 理人

あけましておめでとうございます。天候にも恵まれ、例年になく暖かい穏やかなお正月となりました。皆様も新年を迎え、新たな気持ちでお過ごしのことと思います。本年も、「つづく つながる 夢が育つ学び舎」を学校づくりの合言葉に、教育活動を進めてまいります。

地域や保護者の皆様の御理解と御協力をお願いいたします。



### 蓄えたエネルギーを活かしてチャレンジをする年

今年の干支は子（ねずみ）です。子年は、12支の始まりということで、「これまで蓄えたエネルギーや準備してきたことを活かしてチャレンジをする」という意味があると言われています。

また、「2020年・令和2年」という、年を表す数字に「2」がそろった偶然にもあやかり、国立二小が未来に向けて大きな一歩を踏み出す1年にしたいと思います。

本校では、来年度より実施される学習指導要領や、11月に予定している創立70周年式典等の記念事業、令和3年度（2021年）に着工する校舎の建て替えなどの大きな変化に備えて計画的に準備を進めてきました。また、大きな変化に必要なエネルギーも着実に蓄えてきました。

大きな変化が始まる本年は、これまでの準備や蓄えたエネルギーを活かして、新しいことにチャレンジすることが大きなテーマになります。

### 蓄えたエネルギー（その1） 学校を動かす大きな力

これまで蓄えた大きなエネルギーの源は、学校を動かす子供たちです。そして、そのエネルギーは日常の授業はもちろんのこと、子供たちが主役となって行う学校生活や行事を創り上げ、その達成感や成就感を味わうことで蓄えられてきました。

縦割り班活動や二松ソーランなど、二小伝統の活動をリーダーとなって進める6年生へのあこがれが、下級生の成長に向けたエネルギー（動機）になります。そして、6年生にとっては下級生の目標や手本であることが活動を行うエネルギー（原動力）となっています。このことが二小の良き伝統であり、新しいことにチャレンジするためのエネルギーを生み出しています。

### 蓄えたエネルギー（その2） 学校を支える大きな力

学校を支えてくださっている保護者、地域の皆様との信頼関係や協力体制も大きなエネルギー源となっています。子供たちが楽しみにしている二松クラブ、に一だんごの会などは、保護者の皆様や、育成会を中心とした地域の皆様の支えにより継続している取組です。また、登下校の安全確保を目的とした集団登校は、たくさんの保護者や地域の皆様の協力を得て行っている取組です。中でも、地域の皆様をお願いしている危険個所での見守りや、スクールゾーンへの車両侵入を防ぐ「馬出し」、子供の避難場所である「ピーポ君の家」への協力は、子供の登下校の安全確保には欠かせないものとなっています。このような取組を通して築いた保護者や地域の皆様との信頼関係や協力体制が、新しいことにチャレンジする大きなエネルギーを生み出しています。

裏面に、お世話になっている地域の皆様をご紹介させていただきました。大きな変化を迎える令和2年(2020年)が、子供たち一人一人の夢を育てる1年になるよう、2つのエネルギーを活かした新しいことへのチャレンジを、子供たち、保護者や地域の皆様と共に進めていきます。